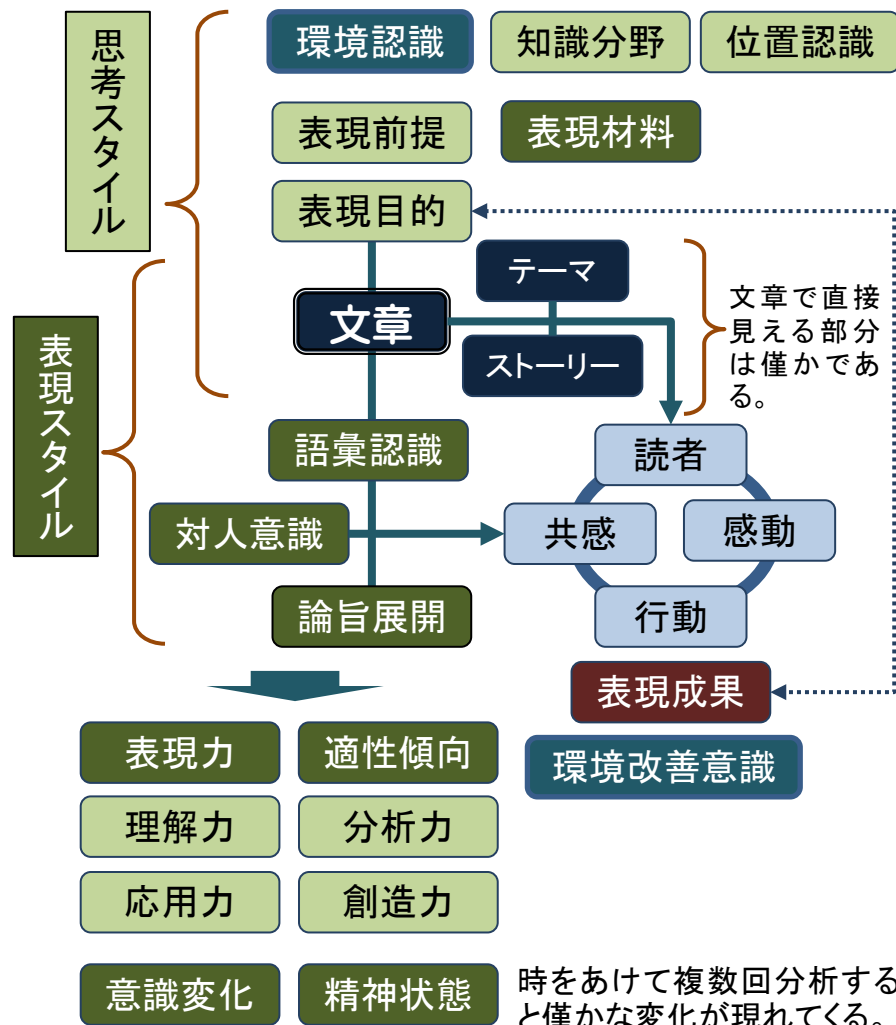


健康文章ブック 目的と診断項目

言葉は、私たちの日々の活動の道具である。
最適な言葉の使い方、自らにあった使い方を探る。



診断目的

作者の現在の状態を知覚する。十分なところ、問題のあるところ、早く成長できるところ、強みを発揮するためにできる事柄を検討できる材料になるようにする。

- 第一ステップは、現在の状態を明らかにする。
- 第二ステップは、文章表現を適切な状態にする。
- 第三ステップは、語彙認識と環境認識を行い、表現との関係を最適する。
- 第四ステップは、成長要素を取り出し、トレーニングできるようにする。

文章には作者の姿が見えないところがとても多い。しかし、作者の大半が文章に含まれている。それらを引き出し、作者の成長・発展を引き出すために文章分析を行う。

- 分析対象となる文章。** 1つのテーマについて書かれている文章が適切である。一つの分析対象になる文章は600字~2000字である。
- キーワード、キーセンテンスを軸にして、テーマ、ストーリーが抽出される。** 読めば分かる範囲だけではなく、マイニングされる。
- 分析結果として抽出される。** 単語、語句、センテンス、数値で表現される。分析値で表された値では、折線グラフが表現される。1文章の分析で、精度の高い結果が表される。
- 統計からの推測として分析結果が求められる。** 1作者の文章件数が多くなるほど精度があがり、確定値に近づく。
- 読者について(分析対象ではなく、作者の意識に関わる。)** 読者が文章を読む時、積極的に読もうとしている場合と、受け身として読む場合とでは読後感に違いが出てくる。作者が読者を意識している程度(対人意識)で文章の練度が変わる。
- 自らの立場を含めた環境認識ができなければ、次へのステップを見いだせない。** 環境改善意識がなければ目的の設定は難しくなる。学習、トレーニングは改善意識と相互に関係する。
- 表現する行為には必ず目的がある。** 目的があるから結果があり、成果がある。分析した文章に対しての読者の成果は求められないが、計画はしているはずだ。文章を表す前の表現目的に影響される。